

平成22年3月期 第1四半期決算短信

平成21年7月28日

上場取引所 JQ

上場会社名 八千代工業株式会社

コード番号 7298 URL <http://www.yachiyo-ind.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 加藤 正彰

問合せ先責任者 (役職名) 経理部長

(氏名) 北村 哲也

TEL 04-2955-1211

四半期報告書提出予定日 平成21年8月7日

配当支払開始予定日 —

(百万円未満切捨て)

1. 平成22年3月期第1四半期の連結業績(平成21年4月1日～平成21年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年3月期第1四半期	54,592	△26.3	△942	—	△944	—	△683	—
21年3月期第1四半期	74,111	—	1,872	—	1,662	—	1,136	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
22年3月期第1四半期	△28.45	—
21年3月期第1四半期	47.31	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
22年3月期第1四半期	127,595	41,809	29.5	1,567.24
21年3月期	120,054	41,210	30.9	1,545.33

(参考) 自己資本 22年3月期第1四半期 37,635百万円 21年3月期 37,109百万円

2. 配当の状況

(基準日)	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	年間
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
21年3月期	—	15.00	—	15.00	30.00
22年3月期	—	—	—	—	—
22年3月期(予想)	—	12.00	—	12.00	24.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

3. 平成22年3月期の連結業績予想(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

(%表示は通期は対前期、第2四半期連結累計期間は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期	134,000	△11.9	250	△92.9	0	—	△200	—	△8.33
連結累計期間	288,000	△6.9	4,300	△28.9	3,800	△32.4	1,700	334.2	70.79

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

4. その他

- (1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無
新規 一社 (社名) 除外 一社 (社名)
- (2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有
(注)詳細は、4ページ【定性的情報・財務諸表等】「4.その他」をご参照ください。
- (3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの)
- | | |
|-----------------|---|
| ① 会計基準等の改正に伴う変更 | 無 |
| ② ①以外の変更 | 無 |
- (4) 発行済株式数(普通株式)
- | | | | | |
|----------------------|-------------|-------------|-------------|-------------|
| ① 期末発行済株式数(自己株式を含む) | 22年3月期第1四半期 | 24,042,700株 | 21年3月期 | 24,042,700株 |
| ② 期末自己株式数 | 22年3月期第1四半期 | 28,934株 | 21年3月期 | 28,934株 |
| ③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間) | 22年3月期第1四半期 | 24,013,766株 | 21年3月期第1四半期 | 24,013,762株 |

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

業績予想については、現時点で入手可能な情報に基づき当社の経営者が判断した予想であります。実際の業績は様々な要因の変化により、記載の業績予想とは大きく異なる結果となり得ますことをご承知おきください。

なお、上記予想に関する事項は、4ページ【定性的情報・財務諸表等】「3.連結業績予想に関する定性的情報」をご参照ください。

定性的情報・財務諸表等

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結会計期間の経済状況は、世界各地で原油価格が上昇し原材料価格が変動しているなか、国内においては、設備投資が大幅に減少するなど、景気は厳しい状況にあるものの、個人消費に下げ止まりの兆しがみられるなど、一部に持ち直しの動きがみられるようになりました。一方、海外においては、米国の景気は後退し、引き続き深刻な状況にあり、収縮のテンポが緩やかになっているものの、景気後退の長期化が懸念されるようになりました。アジア諸国の景気は、中国やインドで拡大が続いたもののそのペースは減速し、その他の国においては景気は引き続き後退いたしました。また、欧州主要国の景気は後退し、引き続き深刻な状況にあり、景気後退の長期化が懸念されるようになりました。

このような情勢のもと、当社グループは、お客様のニーズに迅速かつ的確に応えるため、研究開発及び生産体質の強化など企業体質の強化に努めてまいりました。研究開発面では、製品の軽量化やコストダウンなど引き続き積極的な研究開発活動を展開し、生産面では、国内外の生産体質改革をさらに推進するとともに、急激な経済環境の変化に対応するため、需要の減少による減産下においても生産効率を落とすことのないボトム体質の構築に取り組み、各地域の需要に応じた生産の最適化を図ってまいりました。また、品質面では、引き続き桁違い品質の実現に向けて取り組んでまいりました。

当第1四半期連結会計期間の売上高は、自動車部品分野における大幅な受注の減少などにより、545億9千2百万円と前年同期に比べ195億1千8百万円、26.3%の減収となりました。利益につきましては、自動車部品分野の減収に伴う利益の減少及び減価償却費の増加などにより、原価改善効果並びに販売費及び一般管理費の減少などはあったものの、経常損失は、9億4千4百万円と前年同期に比べ26億6百万円の減益となりました。四半期純損失は、6億8千3百万円と前年同期に比べ18億1千9百万円の減益となりました。

分野別売上高の状況

(自動車部品分野)

自動車部品分野では、国内においては、部品全般における大幅な受注の減少などにより、売上高は、128億9千1百万円と前年同期に比べ118億3千2百万円、47.9%の減収となりました。北米においては、連結子会社であるエーワイ マニュファクチュアリング リミテッド (米国)、ユー エス ヤチヨ インコーポレーテッド (米国)、ヤチヨ マニュファクチュアリング オブ アラバマ エル エル シー (米国) 及びヤチヨ オブ オンタリオ マニュファクチュアリング インコーポレーテッド (カナダ) における大幅な受注の減少や為替換算上の減少などにより、売上高は、60億6千万円と前年同期に比べ68億4千6百万円、53.0%の減収となりました。アジアにおいては、連結子会社であるサイアム ヤチヨ カンパニー リミテッド (タイ) における大幅な受注の減少や為替換算上の減少などにより、サイアム ゴウシ マニュファクチュアリング カンパニー リミテッド (タイ) における受注の増加や昨年12月より操業を開始したゴウシ インディア オートパーツ プライベート リミテッド (インド) の売上増加などはあったものの、売上高は、89億1千9百万円と前年同期に比べ12億3千1百万円、12.1%の減収となりました。

この結果、自動車部品分野の売上高合計は、278億7千1百万円と前年同期に比べ199億1千万円、41.7%の減収となりました。

(自動車組立分野)

自動車組立分野では、平成21年5月よりエンジン組立工場の稼働に伴い、エンジン及びトランスミッションの売上が計上されたことなどにより、受注台数の減少はあったものの、売上高は、266億8千1百万円と前年同期に比べ4億2千4百万円、1.6%の増収となりました。

(その他の分野)

その他の分野の売上高は、3千9百万円と前年同期に比べ3千1百万円、44.6%の減収となりました。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

①資産、負債及び純資産の状況

当第1四半期連結会計期間末における資産合計は、1,275億9千5百万円と前年度に比べ75億4千1百万円の増加となりました。

増加した要因は、現金及び預金の減少などがあったものの、受取手形及び売掛金、たな卸資産、有形固定資産が増加したことなどによるものであります。

負債合計は、857億8千6百万円と前年度に比べ69億4千2百万円の増加となりました。

増加した要因は、賞与引当金や長期借入金などの減少があったものの、支払手形及び買掛金や短期借入金が増加したことなどによるものであります。

純資産合計は、418億9百万円と前年度に比べ5億9千8百万円の増加となりました。

増加した要因は、利益剰余金の減少があったものの、為替換算レート差による為替換算調整勘定が増加したことなどによるものであります。

②キャッシュ・フローの状況

当第1四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、減価償却費30億5千万円（前年同期比20.1%増）、短期借入金の純増額34億8千7百万円（前年同期比60.1%減）などがありましたが、税金等調整前四半期純損失9億9千9百万円（前年同期比165.2%減）、賞与の支払いによる賞与引当金の減少額11億1千8百万円（前年同期比19.7%減）、有形固定資産の取得による支出35億9千万円（前年同期比40.6%減）などにより、当第1四半期連結会計期間末における資金残高は36億4千8百万円（前年同期比22.5%減）となり、前連結会計年度末と比べ11億8千7百万円減少しました。

当第1四半期連結会計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの前年同期に対する増減要因は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果得られた資金は、税金等調整前四半期純損失9億9千9百万円、賞与の支払いによる賞与引当金の減少額11億1千8百万円、売上債権の増加額19億2千2百万円、たな卸資産の増加額23億7千9百万円などがありましたが、減価償却費30億5千万円、仕入債務の増加額32億6千万円などにより、前年同期に比べ6千1百万円増加し、2億3千9百万円となりました。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果支出した資金は、有形固定資産の取得による支出などにより、前年同期に比べ24億8千4百万円減少し、35億4千4百万円となりました。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果得られた資金は、長期借入金の減少額11億3千万円などがありましたが、短期借入金の純増額34億8千7百万円などにより、前年同期に比べ53億5千3百万円減少し、19億4千1百万円となりました。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

平成22年3月期の業績予想につきましては、平成21年4月27日の決算発表時に公表いたしました業績予想を変更しておりません。なお、予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した予想であり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の業績は、今後様々な要因の変化によって大きく異なる結果となる可能性があります。今後修正の必要性が生じた場合は、適時かつ適切に開示してまいります。

4. その他

（1）期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

該当事項はありません。

（2）簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

① 簡便な会計処理

・固定資産の減価償却費の算定方法

定率法を採用している固定資産については、連結会計年度に係る減価償却費の額を期間按分して算定する方法によっております。

② 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

なお、法人税等調整額は、法人税等を含めて表示しております。

（3）四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

該当事項はありません。

5. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成21年6月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,656,047	4,873,951
受取手形及び売掛金	29,766,959	27,221,179
商品及び製品	809,716	828,237
仕掛品	4,145,013	1,632,622
原材料及び貯蔵品	4,278,178	4,173,180
その他	5,212,074	4,232,776
流動資産合計	47,867,988	42,961,948
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	41,726,296	40,883,260
機械装置及び運搬具	82,609,862	79,657,765
工具、器具及び備品	39,742,346	38,837,461
土地	16,344,241	15,660,695
建設仮勘定	5,076,435	3,833,508
減価償却累計額	△112,635,311	△108,404,801
有形固定資産合計	72,863,871	70,467,888
無形固定資産		
のれん	1,363,073	1,434,814
その他	430,649	413,144
無形固定資産合計	1,793,722	1,847,958
投資その他の資産	5,070,087	4,776,517
固定資産合計	79,727,681	77,092,364
資産合計	127,595,670	120,054,313

(単位：千円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成21年6月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	28,127,793	23,612,466
短期借入金	23,344,244	19,768,580
1年内返済予定の長期借入金	5,827,833	5,610,137
賞与引当金	897,524	2,015,894
その他	9,141,784	8,180,664
流動負債合計	67,339,179	59,187,743
固定負債		
長期借入金	13,462,018	14,610,355
退職給付引当金	4,176,964	3,983,722
その他	808,149	1,061,713
固定負債合計	18,447,132	19,655,790
負債合計	85,786,312	78,843,534
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,685,600	3,685,600
資本剰余金	3,504,076	3,504,076
利益剰余金	34,923,214	35,966,533
自己株式	△24,648	△24,648
株主資本合計	42,088,243	43,131,562
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	171,610	129,198
為替換算調整勘定	△4,624,510	△6,151,641
評価・換算差額等合計	△4,452,900	△6,022,443
少数株主持分	4,174,014	4,101,659
純資産合計	41,809,357	41,210,778
負債純資産合計	127,595,670	120,054,313

(2) 四半期連結損益計算書
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年6月30日)
売上高	74,111,156	54,592,726
売上原価	69,149,409	52,945,541
売上総利益	4,961,746	1,647,185
販売費及び一般管理費	3,089,536	2,589,655
営業利益又は営業損失(△)	1,872,210	△942,470
営業外収益		
受取利息	31,959	14,745
為替差益	—	92,055
持分法による投資利益	56,152	—
その他	53,716	54,368
営業外収益合計	141,828	161,168
営業外費用		
支払利息	167,942	148,367
為替差損	171,665	—
その他	11,884	14,500
営業外費用合計	351,492	162,867
経常利益又は経常損失(△)	1,662,546	△944,169
特別利益		
固定資産売却益	3,082	4,634
特別利益合計	3,082	4,634
特別損失		
固定資産除却損	126,296	—
減損損失	—	48,675
その他	5,164	11,576
特別損失合計	131,460	60,251
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	1,534,167	△999,786
法人税等	330,434	△310,892
少数株主利益又は少数株主損失(△)	67,592	△5,781
四半期純利益又は四半期純損失(△)	1,136,139	△683,112

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	1,534,167	△999,786
減価償却費	2,539,821	3,050,441
減損損失	—	48,675
のれん償却額	71,740	71,740
賞与引当金の増減額(△は減少)	△1,392,546	△1,118,370
受取利息及び受取配当金	△37,729	△19,166
支払利息	167,942	148,367
持分法による投資損益(△は益)	△56,152	△4,621
有形固定資産売却損益(△は益)	1,957	△1,841
有形固定資産除却損	126,296	6,813
売上債権の増減額(△は増加)	△2,186,843	△1,922,701
たな卸資産の増減額(△は増加)	122,037	△2,379,842
仕入債務の増減額(△は減少)	2,152,117	3,260,653
その他	455,692	462,486
小計	3,498,501	602,848
利息及び配当金の受取額	25,588	19,484
利息の支払額	△139,585	△108,626
法人税等の支払額	△3,206,396	△273,734
営業活動によるキャッシュ・フロー	178,107	239,973
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△6,047,833	△3,590,529
有形固定資産の売却による収入	19,490	13,567
その他	△1,341	32,271
投資活動によるキャッシュ・フロー	△6,029,684	△3,544,690
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	8,747,394	3,487,386
長期借入れによる収入	400,000	—
長期借入金の返済による支出	△1,435,148	△1,130,780
配当金の支払額	△360,206	△360,180
少数株主への配当金の支払額	△23,787	—
その他	△32,967	△54,636
財務活動によるキャッシュ・フロー	7,295,284	1,941,788
現金及び現金同等物に係る換算差額	△504,780	175,846
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	938,926	△1,187,082
現金及び現金同等物の期首残高	3,734,739	4,835,390
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	32,568	—
現金及び現金同等物の四半期末残高	4,706,234	3,648,308

- (4) 継続企業の前提に関する注記
該当事項はありません。

(5) セグメント情報

【事業の種類別セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間(自平成20年4月1日至平成20年6月30日)

全セグメントの売上高の合計及び営業利益の合計額に占める「自動車及びその部品の製造及び販売事業」の割合がいずれも90%を超えているため、事業の種類別セグメント情報の記載を省略しております。

当第1四半期連結累計期間(自平成21年4月1日至平成21年6月30日)

全セグメントの売上高の合計及び営業利益の合計額に占める「自動車及びその部品の製造及び販売事業」の割合がいずれも90%を超えているため、事業の種類別セグメント情報の記載を省略しております。

【所在地別セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間(自平成20年4月1日至平成20年6月30日)

	日本 (千円)	北米 (千円)	アジア (千円)	その他の 地域(千円)	計 (千円)	消去又は 全社(千円)	連結 (千円)
売上高							
(1) 外部顧客に対する 売上高	51,041,519	12,906,910	10,162,726	—	74,111,156	—	74,111,156
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	1,762,627	1,488	182,244	—	1,946,360	(1,946,360)	—
計	52,804,146	12,908,398	10,344,971	—	76,057,516	(1,946,360)	74,111,156
営業利益 (又は営業損失)	324,035	639,016	944,899	△2,384	1,905,568	(33,357)	1,872,210

(注) 1 国又は地域の区分は、地理的近接度によっております。

2 各区分に属する主な国又は地域……………北米：カナダ、米国

アジア：タイ、ベトナム、中国、インド

その他の地域：英国

3 会計方針の変更

当社及び国内連結子会社は、通常の販売目的で保有するたな卸資産について、従来、主として総平均法による原価法によっておりましたが、当第1四半期連結会計期間より「棚卸資産の評価に関する会計基準」(企業会計基準第9号 平成18年7月5日)が適用されたことに伴い、主として総平均法による原価法(貸借対照表価額については収益性の低下に基づく簿価切下げの方法)により算定しております。これにより、従来と同じ方法によった場合に比べ、「日本」の営業利益は131,939千円減少しております。

4 追加情報

当社及び国内連結子会社は、機械装置について、平成20年度税制改正を契機に経済的使用可能予測期間を見直した結果、当第1四半期連結会計期間より耐用年数の変更を行っております。これにより、従来と同じ方法によった場合に比べ、「日本」の営業利益は130,013千円減少しております。

当第1四半期連結累計期間(自平成21年4月1日至平成21年6月30日)

	日本 (千円)	北米 (千円)	アジア (千円)	その他の 地域(千円)	計 (千円)	消去又は 全社(千円)	連結 (千円)
売上高							
(1) 外部顧客に対する 売上高	39,607,659	6,060,903	8,924,163	—	54,592,726	—	54,592,726
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	913,319	102,583	26,841	—	1,042,743	(1,042,743)	—
計	40,520,978	6,163,487	8,951,004	—	55,635,470	(1,042,743)	54,592,726
営業利益 (又は営業損失)	△1,418,384	△241,170	702,980	△268	△956,843	14,373	△942,470

(注) 1 国又は地域の区分は、地理的近接度によっております。

2 各区分に属する主な国又は地域……………北米：カナダ、米国

アジア：タイ、ベトナム、中国、インド

その他の地域：英国

【海外売上高】

前第1四半期連結累計期間(自 平成20年4月1日 至 平成20年6月30日)

	北米	アジア	その他の地域	計
I 海外売上高(千円)	12,907,030	10,161,497	14,630	23,083,158
II 連結売上高(千円)	—	—	—	74,111,156
III 連結売上高に占める 海外売上高の割合(%)	17.4	13.7	0.0	31.1

(注) 1 国又は地域の区分は、地理的近接度によっております。

- 2 各区分に属する主な国又は地域……………北米：カナダ、米国
アジア：タイ、ベトナム、中国他
その他の地域：英国他

3 海外売上高は、当社及び連結子会社の本邦以外の国又は地域における売上高であります。

第1四半期連結累計期間(自 平成21年4月1日 至 平成21年6月30日)

	北米	アジア	その他の地域	計
I 海外売上高(千円)	6,054,541	8,231,346	707,654	14,993,542
II 連結売上高(千円)	—	—	—	54,592,726
III 連結売上高に占める 海外売上高の割合(%)	11.1	15.1	1.3	27.5

(注) 1 国又は地域の区分は、地理的近接度によっております。

- 2 各区分に属する主な国又は地域……………北米：カナダ、米国
アジア：タイ、ベトナム、中国、インド
その他の地域：英国、ブラジル

3 海外売上高は、当社及び連結子会社の本邦以外の国又は地域における売上高であります。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記
該当事項はありません。